

フィリピン口唇口蓋裂児手術プロジェクト

横須賀ロータリークラブ

昨年8月、ロータリー財団地区補助金および当クラブ会員の拠出による援助を受け、神奈川歯科大学の協力を得て、同大学教授の久保田英朗会員と五十嵐歯科医院理事長の五十嵐俊男会員が、フィリピンで国際奉仕活動を実施しました。

訪問先は、フィリピンのネグロス島です。同国内でも比較的貧富の差が少ない島ですが、そこで働く季節労働者、農園労働者の賃金は低く、医療の技術や経済的な問題から未治療の口唇口蓋裂こうしんこうがいれつの子どもの多くいます。設備もままならない中、現地の病院において、3日間で23人の子どもの手術を実施しました。

1日に8例を手術するというハードなスケジュールでしたが、現地の小児科医、麻酔医、歯科医との連携が取れ、病院も協力的でした。現地の子どもたちのうれしそうな笑顔と輝く澄んだ瞳が印象に残り、とてもやりがいを感じました。

また、山寄内科クリニック院長の山寄進康会員が用意



した抗菌剤 80kg を現地の病院に寄贈し、心温まる感謝状をいただきました。

なお、この活動には現地の第 3860 地区・ドウマゲッティサウスロータリークラブに所属する医師や歯科医師も協力してくれました。
(第 2780 地区 神奈川県)